

滋賀県平和祈念館 第35回企画展示

戦場となった南洋の島々



パラオで行われた健康乳児審査会での記念撮影 (高橋 正則さん 提供)

令和6年(2024年)

6月29日 **土** - 12月22日 **日** **〈入館無料〉**

開館時間 / 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 / 月・火曜日(祝日にあたる場合は開館、7月17日～8月25日は無休)

※その他業務の都合により休館する場合があります。

駐車場 / 約50台(無料)

詳しくはホームページをご覧ください。

滋賀県平和祈念館

検索



戦場となった南洋の島々

大正3年(1914年)、第一次世界大戦においてドイツに対する宣戦布告を行った日本は、ドイツ領だった太平洋の島々を攻撃し、占領しました。大戦終了後、日本はドイツ領だった島々のうち赤道以北部分について、国際連盟から統治を委任されます。南洋群島と呼ばれたこれらの島々に、多くの移民が送られた結果、サイパンなどでは先住民よりも日本人の方が多く暮らすようになりました。

南洋群島をはじめ、アメリカ合衆国領やオーストラリアの委任統治領であった南洋の島々は、昭和16年(1941年)からの太平洋戦争において戦場となり、多くの兵士と住民の命が失われました。

今回の企画展示では、南洋群島をはじめとする南洋の島々において、滋賀県民たちが体験した戦争に関する記憶を、滋賀県平和祈念館が長年にわたって収集してきた関係者の体験談や関連資料などで紹介します。



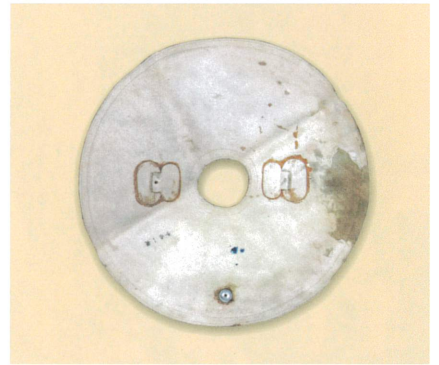
ヤシの実で自作したタバコ入れ
(黒川 増吉さん 提供)



硫黄島でのできごとを記録した手帳
(松崎 香苗さん 提供)



バラオにあった南洋神社の御守
(土田 廣志さん 提供)



上陸作戦に使われた浮き袋
(中西 一雄さん 提供)

関連行事

予約不要

学芸員による企画展示説明会 令和6年7月15日(祝) 13:30～(約1時間)

平和祈念館からのお願い

■ 体験談の聞き取り調査・資料寄贈にご協力ください

滋賀県平和祈念館では、国内外で戦争を体験された方からの体験談を募集しています。調査員がうかがってお話をお聞きします。また、戦争に関わる資料(戦没された方の遺品、戦時中に使っておられた品物、当時の写真・書類など)を寄贈していただける方を探しています。対象は現在、滋賀県にお住まいの方、または滋賀県に関して戦争・戦時中の生活を体験された方です。

■ ボランティアの募集

滋賀県平和祈念館では、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝える活動のボランティアを募集しています。

■ 滋賀応援寄附のお願い

いただいた寄附は、戦後80年に向け、平和への想いを次世代へつないでいくために活用します。

詳しくは「滋賀県平和祈念館」までお問い合わせください

TEL / 0749-46-0300 FAX / 0749-46-0350

E-mail / heiwa@pref.shiga.lg.jp

交通アクセス



- JR琵琶湖線(東海道線)彦根駅または近江八幡駅乗り換え
近江鉄道八日市駅からバスで約20分「愛東支所・診療所前」下車すぐ
- 名神高速道路「八日市IC」から車で約10分《駐車場/約50台(無料)》